

食肉や羊毛の販売へ

羊で地域を元気に

加美町・鈴江 瞭平さん、セリナさん

【宮城支局】加美町鹿原地区の羊牧場「かみ羊の森」を運営するのは、昨年、新規就農を機に移住した鈴江瞭平さんと妻のセリナさん。現在は廃牛舎を改修した羊舎と約3・5畝の放牧地で、サフォーク種やテクセル種など羊28頭を飼養している。

春から秋にかけて放牧し、冬は羊舎内で出産期を迎える。今年は11頭の出産を予定。飼料は町内の農家と連携し、規格外のサツマイモや大豆などを活用している。年内に5頭を羊肉として出荷する計画だ。羊肉は主に県内や東北圏内の飲食店などとの直接取引を目

指す。

羊毛は原毛や加工品での販売を検討中だという。セリナさんは「羊ごとに毛質が違う。実際に羊を見て、その羊のことも知った上で選んでもらえれば、より愛着を持ってもらえるので

は」と話す。

鈴江さんは「羊は毛や肉の生産物だけでなく、放牧で里山や草原を維持し、共に過ごすことで自然や動物との関わり方を教えてくれる。羊の多様な魅力を伝えられる場にしていきたい」と話す。（伊藤健太郎）

リンゴ作り講習会

剪定や

防除法学ぶ

鱈ヶ沢町

【青森支局】鱈ヶ沢町小屋敷のリンゴ園地でこのほど、リンゴの栽培技術向上を目的にJAつがるにしきた主催の「りんご剪定講習会」が開催。リンゴ農家13人が参加し、剪定技術や防除作業について学んだ。

剪定の実技講習では、県りんご剪定士3人が講師となり、工夫の仕方などを説明。参加者も質問や意見交換をしながら積極的に学んでいた。

続いて「りんご防除暦説明会」が行われ、西北農林水産事務所や農協、農業メーカーが防除作業の注意点や散布適期、農薬の効能な



かみ羊の森の
QRコード



「将来的には耕地を拡大し、300頭まで増頭したい」と鈴江さん夫妻

し、300頭まで増頭し

へん